

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_連絡版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)船橋西浦物流センター新築工事 倉庫棟	階数	地上4F
建設地	千葉県船橋市西浦2丁目4番3	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)	平均居住人員	350 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年4月17日
敷地面積	16,456 m ²	作成者	JFEシビル株式会社
建築面積	8,846 m ²	確認日	2025年4月17日
延床面積	26,479 m ²	確認者	JFEシビル株式会社

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.9

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		
建物自体がより長く良い状態で使い続けられるために必要な機能や、敷地内の屋外環境や周辺環境に関する環境品質の向上にも配慮した計画を行った。省エネルギー性の高い外皮及び設備を搭載した建築物であるだけでなく、資源・マテリアル消費の低減や、敷地境界線を越えて地球環境に及ぼす影響を低減する取組を行うことで、環境負荷低減性に優れた建築計画となるよう配慮した。	その他 特になし	
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 各種仕上り材や空調換気ダクトの長寿命化を図り、災害時等の機能維持に配慮し耐震クラスAを確保することで、耐用性・信頼性に優れた建築物を実現した。空間にゆとりをもたせ、設備スペースにも配慮した設計により、対応性・更新性を確保した。	Q3 室外環境(敷地内) 立地特性や緑化計画に配慮することで、生物環境の保全と創出を実現した。緑化計画に加えて、建築設備に伴う排熱等にも配慮することで、敷地内温暖環境を向上させた。
LR1 エネルギー 建築外皮の性能や、建築物の設備における省エネルギー対策について配慮することで、建物外皮の熱負荷抑制・設備システムの高効率化を行い、建築物を運用する際に発生するエネルギー消費を低減させた。	LR2 資源・マテリアル 省水型機器を採用することで上水使用料の削減を図った。強度が高い材料や工法の工夫により材料使用量の削減を図り、LGS下地、OAフロアの採用により部材の再利用可能性向上への取組を行った。	LR3 敷地外環境 CO ₂ 排出削減に貢献する取組をすることで、地球温暖化へ配慮した。駐車スペース等の確保による交通処理負荷抑制を図ることで、地球環境へ配慮した。広告照明も行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される